

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 ICS 小委員会 （第23期・第1回）議事録

日時：平成27年6月27日（土）12：00～13：00

会場：産業技術総合研究所第1事業所共通講堂2階控室（茨城県つくば市東1-1-1）

出席者：北里 洋，齋藤文紀，西 弘嗣，松岡 篤，江崎洋一，川辺文久.

欠席者：上野勝美，佐藤時幸.

議題

1. 委員長，幹事の互選

委員長に松岡 篤を，幹事に川辺文久を選出した.

2. ICS subcommissionの活動状況について

カンブリア系のSeries 2，Series 3の検討が進んでおり，中国のセクションが有力視されている.

ペルム系層序小委員会（ISPS）では，Sakmarian, Artinskian, KungurianのGSSP候補の検討が進んでいる. 本年8月の第18回石炭－ペルム系国際会議（Kazan, Russia）において，本小委員会のビジネスミーティング並びに上記のペルム系3階及び上部石炭系GzhelianのGSSP候補の巡検が計画されており，上野委員が参加する.

3. Early/Middle Pleistocene GSSPに関する動き

第四系層序小委員会（SQS）内に設置されたEarly / Middle Pleistocene boundary working groupにおいて，来年頭までに候補地の提案が行われることになっている. このWGは十数名で構成され，うち日本人2名（齋藤委員，熊井久雄氏）がメンバーとなっている. WGでの投票を経て，SQS，ICSでの投票に進み，INQUAとの協議を経て，IUGSの理事会で最終決定になる.

風岡 修氏，菅沼悠介氏，岡田 誠氏らを中心に上総層群国本層に関わる各種層序学的データを扱った論文が国際学術誌から相次いで公表され，養老セクションをGSSP候補地とする体制が整いつつある；たとえば「Kazaoka et al., 2015. Stratigraphy of the Kazusa Group, Boso Peninsula: an expanded and highly-resolved marine sedimentary record from the Lower and Middle Pleistocene of Central Japan. *Quaternary International*」，「Suganuma et al., 2015. Age of Matuyama–Brunhes boundary 1 constrained by U-Pb zircon dating of a widespread tephra. *Geology*」.

本年7月のSTRATI2015(Graz, Austria)の第四系層序のセッションにおいて，養老セクションに関わる発表がなされ，また，INQUA名古屋大会後（8月）には養老セクションの巡検が実施される. SQSの会合もINQUA開催に合わせて行われる予定である.

4. その他

非公式用語としてのAnthropoceneが普及しつつある。ただし、公式用語とするには、その下限の定義が必要であり、SQSの中の'Anthropocene' working groupで議論が行われている。下部中部更新統境界と同じく、来年のIGCを目指しているものと思う。

本年7月のSTRATI2015に北里委員が参加し、情報収集を行う。

次回の会合は、地球惑星科学連合大会（平成 28 年 5 月）の会期中に行う。

配布資料

- ・ ICS 小委員会名簿
- ・ STRATI2015 のプログラム

以上